

日本には、かつて養蚕・蚕糸業が盛んであった時代がありましたが、低価格で大量生産ができる化学繊維の開発により、生糸が絹織物に変わる機会が徐々に少なくなってきました。しかし、最近の研究により、シルクには幅広い用途と、遺伝子組換えの新たな機能の追加が可能であることが見えてきました。そこで、未来を切り開く道として誕生したのが新たなシルク蚕業を創生するプロジェクト「SILK ON VALLEY YAMAGA」。今回はその一環として山鹿市全体でシルクの素晴らしさを伝えます。

トランスフローラ Trance flora

アーティストのスプツニ子!氏と、遺伝子組換えカイコの第一人者である、農研機構生物機能利用研究部門ユニット長及び、東京大学大学院新領域創成科学研究科客員教授の瀬筒秀樹氏らによって共同制作された最先端シルクの光るドレス展、『Tranceflora』を山鹿市内の天聴の蔵・大蔵にて展示いたします。また、中蔵スペースでは併せて「やまがシルクの今と昔」と題し、山鹿の伝統的で長い養蚕業の歴史と、未来を切り開く可能性を持つ現代の挑戦を、映像と展示パネルにて一挙大公開します。最先端シルクと伝統蚕糸業の融合を、この夏山鹿で体験してみませんか？

※写真はロンドンV&A美術館での展示の様子

Sputniko! — スプツニ子!氏

アーティスト

ロンドンにあるインペリアル・カレッジ数学科および情報工学科を卒業後、英国国立芸術学院(RCA)デザイン・インタラクション専攻修士課程を修了。在学中より、テクノロジーによって変化していく人間の在り方や社会を反映させた映像インスタレーションの作品を制作。2016年よりアート作品づくりの文脈で遺伝子組換えカイコの魅力に触れ、『運命の赤い糸をつむぐ蚕 - タマキの恋』というショートムービーや、恋愛ホルモンと言われるオキシトシンをつくる遺伝子を組み込み、赤色蛍光タンパク質を含んだ『運命の赤い糸をはく蚕』という新種開発等を発表している。

SILK EVENT What's up in YAMAGA? 2018.8.04(土) 9.12(水)

山鹿市の豊前街道沿いでは、シルクにまつわる各種イベントが期間中に開催されます。山鹿の繭を使って「繭人形作り」の体験や、近年、食品としても注目を集めているシルクにまつわるメニューの開発、染められた絹糸、絹織物の展示や販売など、様々なかたちでシルクの魅力を山鹿から伝えます。

EVENT 2



やまがシルクを用いた繭人形作り体験・ やまがシルクで「くまモン」を作ろう!

山鹿産の繭玉でくまモンを作ります。繭玉の大きさや形は一つ一つ違いますので世界にたった一つの自分だけのオリジナル「くまモン」が作れます。作品は角板に固定して箱に入れてお渡しします。

今回の『SILK ON VALLEY YAMAGA Festival』を通して、昔から長く続く山鹿の繭産業を皆さんに知っていただけるのは素晴らしいことであり、天聴の蔵で展示される『Tranceflora』を軸に、近隣の店が連携して繭やシルクに関連した商品を展示・販売することは、非常にありがたい機会だと思っております。かつて養蚕業と街が密接につながっていた頃のように、このイベントを足掛けにして、もっとお客様に山鹿市の魅力を伝えて盛り上げられたらと思っております。山鹿市には八千代座や灯籠民芸館もあるうえに、ちょっとした小道や自然も素晴らしく、繭人形作りをしながら、そんな山鹿市の魅力も伝えていければと思っております。

やまが門前美術館館長 角田恵二郎様

メトロカフェでのシルクメニューのご提供

シルクにまつわるメニューの販売提供をいたします。タンパク質が豊富なシルクは食品として美容や健康にも優れており、大変注目されております。メトロカフェでは山鹿産シルクと桑の葉パウダー入りのアイスを使った季節のフルーツのパフェやスコーンなどを提供させていただく予定です。

かつてシルクで栄えていた山鹿が、また養蚕業で再興できることを長年願っておりました。そこで、この『SILK ON VALLEY YAMAGA』のプロジェクトが大きく展開されることが非常に嬉しく、今回のフェスティバルをきっかけに山鹿市全体で団結して山鹿の魅力を伝えていきたいと思っております。メトロカフェでは、桑の葉パウダーを使用したスコーンや豆乳甘酒ドリンク、山鹿産シルクと桑の葉パウダー入りのアイスを使った季節のフルーツパフェなどを提供します。健康にも良いということですので、優しい素材を使う当店のコンセプトにもピッタリだと思えました。深いつながりを持つ地元のお店と知恵を出し合い、協力し合って山鹿を紹介していきます。

Metro Cafe -メトロカフェ- 大坪恵理子様

EVENT 3



セレクトショップ・ヤマノテでの 期間限定販売イベント

山鹿産の桑の葉を使ったお菓子の販売や、デザイン・染め・紡ぎ・織・仕立てをお一人でされる志戸朋子氏のシルクの洋服の展示販売などを行います。

シルクについて全く知らない方に対しても、光るドレス展『Tranceflora』を目的にいらした方に対しても、『SILK ON VALLEY YAMAGA Festival』を通じて近隣店舗と連携し、山鹿の人と町の温かさを感じていただけるようなおもてなしができればと思っております。自分自身も大人になってから山鹿とシルクの深い繋がりがや長い歴史を知ることができました。今後は教育の面からも養蚕業を学べる機会が増えていって欲しいと思います。また、当店は山鹿灯籠を中心に熊本の手仕事品を置いているので、今後は更にやまがシルクの商品が増えていき、一緒に山鹿を盛り上げていければと思います。

ヤマノテ 福田京様

EVENT 4



古民家ギャラリー百花堂での展示イベント

群馬県桐生市の「天然染色研究所」所長・田島勝博さんが染められた、日本古来の色見本や桐生産の絹糸やショールなどを、版画家・難波多輝子さんが古民家にレイアウトし、展示販売致します。また、隣接スペースでは、座繰りの動画をながしながら、パネル、養蚕用具などを展示します。

これまで、山鹿産の繭から糸をつくり、染めて織り上げる仕事を見てきました。今回『SILK ON VALLEY YAMAGA Festival』に関連して百花堂を会場とし、桐生より天然染めの絹製品や作品の展示販売をさせて頂く事となり調べていくと、国内の繭生産が一位の群馬県であっても、国産の絹糸を地元で染める事は難しい事を知り、大変驚きました。桐生の方は国産の糸を染めて織る事の出来る山鹿の様子に驚かれました。山鹿産の糸を日本の身近な所で、染めたり織られる日が来ることを願います。

ギャラリースペース百花堂 木部律子様

EVENT 5

